氏名	所属	職名	取得学位	専門分野	主な論文・著作・業績
仲村 究	臨床検査医学 ・感染症学講座	教授	博士（医学）	感染症学 感染制御学 臨床検査医学 内科学	① Hara Y, Nakamura K, et al. Detection of Clostridioides difficile toxin B gene in clinical stool specimens using rapid diagnostic quenching probe-polymerase chain reaction assay. J Microbiol Methods 2023;205:106666. (corresponding author) ② Nakamura K, et al. Antiviral Effects of Ozonated Water for Handwashing Against SARS-CoV-2 Omicron Variant Using the E1052-20 Test Method of the American Society of Testing Materials International. Ozone: Science & Engineering. The Journal of the International Ozone Association. 46, 2024. (corresponding author) ③ Tanno D, Nakamura K, et al. Effect of recent SARS-CoV-2 infection on anti-spike protein immunoglobulin G II response after BNT162b2 vaccination. Journal of Clinical Virology Plus. Volume 5, Issue 3. 2025. (corresponding author) ④ 仲村 究. 野兔病. 朝倉内科学. 第12版. 朝倉書店：2022：p.l-349-l-350. ⑤ 仲村 究. リケッチア感染症（つづが虫病, 日本紅斑熱）. 今日の治療指針. 医学書院：2024：p.176-177.
藤原 亨	臨床検査医学 ・感染症学講座	准教授	博士（医学）	臨床検査医学 血液内科学 輸血学 内科学	① Fujiwara T. Toward a Refined Framework for Diploscapter Species Identification.Laboratory Medicine International. 2025; 4(2): 47-48. (corresponding author) ② Fujiwara T. Emerging perspectives on sideroblastic anemia. Rinsho Ketsueki. 2025; 66: 557-564. (corresponding author) ③ Fujiwara T, Harigae H. Pyridoxine: Beyond a Cofactor of ALAS. Blood. 2024;144:1358-1359. ④ 藤原 亨 他（日本鉄バイオサイエンス学会編）. 鉄欠乏性貧血の診療指針【第1版】, フジメディカル出版. 2024. ⑤ 藤原 亨. 鉄代謝異常に伴う貧血の病態と検査への応用. 第70回日本臨床検査医学会学術集会. 長崎. 2023.11（学術賞「学会賞」受賞記念講演）
小野寺 直人	臨床検査医学 ・感染症学講座	講師	博士（医学）	薬剤耐性・細菌感 染制御 公衆衛生学・疫学 感染症治療学	①小野寺直人, 諏訪部章：文部科学省科学研究費補助金「課題名：小中学校のインフルエンザ対策の検証：病院感染対策の導入効果」（2020年度～2024年度） ②斎藤史枝、小野寺直人、木内千晶：文部科学省科学研究費補助金「課題名：介護老人保健施設での感染対策を融合した出前型急変時対応シミュレーション研修の開発」（2023年度～2026年度） ③小野寺直人：日本化学療法学会／ファイザー公募型医学教育プロジェクト助成「AMR対策におけるDXを活用した新世代教育資材の開発と評価・教育用動画コース名: PPEや手袋の着脱」（2025年） ④小野寺直人：公開市民講演会「感染症予防に重要なワクチン接種の理解と薬剤師の役割」公益社団法人 日本薬剤学会. WEB. 2024.9（2024年） ⑤小野寺直人：感染症の流行は終わらない！改めて再確認する感染対策の基本：手指衛生および環境消毒と防護具の使い方. 岩手保健医療大学 令和7年度防火防災・環境保全委員会研修会. 盛岡 2025.6（2025年）

熊谷 亜希子	臨床検査医学 ・感染症学講座	講師	博士(医学)	循環器内科学	①熊谷亜希子：LAAO 術後TEE評価：第13回Structural Heart Disease診療のための心エコー図研修会. 大阪 2025.6 (2025) ②熊谷亜希子：AmplatzerやWatchmanの実際と術中エコー評価：第39回経食道心エコー講習会. 東京 2024.2 (2024) ③熊谷亜希子：塞栓症に対するデバイス治療：心エコー図診断のポイント：ECHO TOHOKU 2023.仙台 2023.11 (2023) ④Sato K, Seo Y, Ishizu T, Albakaa NK, Izumo M, Okada A, Izumi C, Takeda Y, Izumi Y, Kumagai A , Fukuda T, Takahashi N, Kitai T, Iwano H, Sugawara S, Akasaka K, Harada K, Masaoka Y, Kusunose K, Tanabe K, Sakamoto T, Takamura T, Ieda M. Cardiac Reversibility and Survival After Transcatheter Aortic Valve Implantation in Patients With Low-Gradient Aortic Stenosis. J Am Heart Assoc. 2023 Aug 15;12 (16) :e029717. ⑤熊谷亜希子, 房崎哲也, 芳沢美知子, 二宮亮,橋本直土,永田恭平,登坂憲吾, 田代敦, 森野禎浩: 拡張不良であったEvolut. PRO Plusの一例. ストラクチャークラブ・ジャパンライブデモンストレーション (2022)
高橋 敬太	臨床検査医学 ・感染症学講座	助教	修士 (医科学)	臨床検査医学 医用画像 医用超音波	①高橋敬太, 伊藤智範, 高橋邦尚, 諏訪部章：地域医療に臨床検査技師ができること～病診連携による疾患早期発見のための新たなアプローチ～. 第72回日本医学検査学会学術集会. 群馬県高崎市 (2023) ②高橋敬太ら：UGAPの脂肪化診断能と精度管理. 日本超音波医学会第95回学術集会. 愛知県名古屋市 (2022) ③高橋敬太, 諏訪部章：岩手医科大学附属病院における生理機能検査パニック値の現状と課題. 日本臨床検査医学会第68回学術集会. Web開催 (2021) ④高橋敬太ら：超音波検査にて経時的変化を観察し、生体肝移植にて救命し得たAcetoaminophen非昏睡型急性肝不全の1例. 日本超音波医学会第93回学術集会. Web開催 (2020) ⑤高橋敬太, 斎藤篤, 千葉麻美, 中居恵子, 諏訪部章：ミトコンドリアCKの影響を回避したCK-MB測定試薬「アクキュラスオートCK-MB MtO」の基礎的検討. 日本臨床検査自動化学会誌. 37(1):84-88, 2012
七崎 之利	臨床検査医学 ・感染症学講座	助教	博士 (医学)	プライマリケア 救急医学 臨床化学検査学 医学教育学	①七崎之利, 諏訪部章 「岩手医科大学医学部ポリクリ実習の腹部超音波検査実習における試み」第64回日本臨床検査医学会学術集会. 2017: 京都市 ②七崎之利, 諏訪部章 「パニック値の過去・現在・未来 ～その問題点と課題～」第64回日本臨床検査医学会学術集会 18チーム医療委員会:チーム医療シンポジウム. 2017: 京都市 ③七崎之利, 諏訪部章 「パニック値の過去・現在・未来 ～その問題点と課題～」 / 臨床病理. 66:790-96(2018) ④七崎之利, 諏訪部章 「岩手医科大学医学部5年生の腹部超音波検査実習における男女学生の実習評価の検討と学生満足度」第51回日本臨床検査医学会東北支部総会. 2019: 仙台市 ⑤七崎之利, 諏訪部章 「岩手医科大学医学部5年生の腹部超音波検査実習における男女学生の実習評価の検討と学生満足度」第66回日本臨床検査医学会学術集会. 2019: 岡山市
日比谷 健司	臨床検査医学 ・感染症学講座	助教	博士 (医学)	感染症・公衆衛生 ・病理学	①Shinzato A*, Hibiya K*, Nishiyama N, Ikemiyagi N, Arakaki W, Kami W, Nabeya D, Ideguchi S, Nakamura H, Furugen M, Miyagi K, Nakamatsu M, Haranaga S, Kinjo T, Fujita J, Nakamura K, Yamamoto K. Unseasonal respiratory syncytial virus epidemics during the COVID-19 pandemic: Relationship between climatic factors and epidemic strain switching. Int J Infect Dis. 2025;154:107833. (*Akira Shinzato and Kenji Hibiya contributed equally.)